

# 【新規】生涯学習事業調書

No. 1

課名： 育成センター 担当者名：

内線番号：

事業名						
出前講座「家庭における就学前情報モラル教育について」						
実施主体						
市						
施策体系			重点項目 ※該当するものに○（複数可） （別紙1）参照			
基本目標	施策の 基本方向	具体的な 施策の展開	ア	イ	ウ	エ
IV	2	(3)		○		
事業概要						
スマートフォンやタブレット、ゲーム機等によるインターネットの長時間利用によるネット・ゲーム依存が、子どもたちを取巻く社会問題となっている。とりわけ、幼少期からインターネットに触れる機会が多くなり、内閣府の調査によると小学校入学までに50%以上の幼児がインターネットを利用している。そこで、少年育成センターの職員が、未就学児の保護者向けに講話を行い、ネット・ゲーム依存の実態や防止策等の啓発を行うとともに、安心して安全なインターネット利用について保護者に考えてもらう機会とするものである。						
令和4年度事業内容						
市立幼稚園・こども園の要請により、少年育成センターに在籍する職員を派遣し、ネット・ゲーム依存対策をはじめとする安心・安全なインターネットの利用についてなど、未就学児の保護者に注意してほしいことについて講話を行う。						
指標名						
受講者の満足度						

# 【新規】生涯学習事業調書

No. 2

課名：生涯学習センター 担当者名：

内線番号：

事業名						
自主学習スペース事業						
実施主体						
市						
施策体系			重点項目 ※該当するものに○（複数可） （別紙1）参照			
基本目標	施策の 基本方向	具体的な 施策の展開	ア	イ	ウ	エ
VI	1	(1)			○	
事業概要						
学生や若者などの学習や居場所の確保の支援策として、貸室を夜間に自主学習スペースとして開放することにより、多様な学習ニーズに対応できる環境を整え、生涯学習の推進に資する。						
令和4年度事業内容						
生涯学習センター（まなびCAN）の貸室（主に小研修室）を夜間（午後6時～午後10時）に自主学習スペースとして無料開放をする。						
指標名						
利用人数						

# 【新規】生涯学習事業調書

No. 3

課名： 生涯学習課 担当者名：

内線番号：

事業名						
高松市夜間教室事業						
実施主体						
市						
施策体系			重点項目 ※該当するものに○（複数可） （別紙1）参照			
基本目標	施策の 基本方向	具体的な 施策の展開	ア	イ	ウ	エ
VI	1	(1)			○	
事業概要						
義務教育を修了しないまま学齢期を経過した者や不登校など様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した者等を対象に、学びの場として高松市夜間教室を開室し、義務教育課程の内容について学習支援を行うことにより、市民の学び直しの機会の提供に資する。						
令和4年度事業内容						
夜間教室での学び直しを希望する受講生を対象に、国語や算数（数学）などの義務教育課程の学習支援を実施する。						
指標名						
受講者の満足度						